

上半期は4億2千万円の赤字 短期経理の状況

上半期の収入は、前年度上半期より、9200万円減の39億6300万円になりました。この収入の減少は、組合員数の減少により、掛金・負担金等が1億2100万円減少したことが影響しています。

一方、上半期の支出は、前年度上半期より2億9300万円多い43億8400万円になりました。この支出の増加は、医療費は同程度でしたが、老人保健拠出金及び退職者給付拠出金が合計で5900万円増加していること、また前年度はなかった連合会返還金(注)が今年度は1億6700万円あることが影響しています。

このため上半期の収支は4億2100万円の赤字になります。

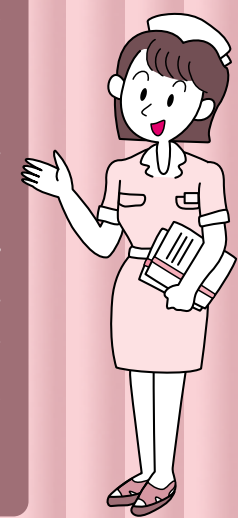
なお、今年度は1億6100万円の当期損失金を見込む赤字予算で、下半期は連合会から調整交付金、特別調整交付金及び高額医療交付金(合計5億600万円)の交付が予定されています。

(注)連合会返還金とは、財政調整交付金・特別財政調整交付金を受けた組合が決算で剰余金を計上することになったときに、同交付金の範囲で剰余金相当額を連合会に返還するものです。

上半期の入院・外来・歯科

組合員
(グラフ1)
入院医療費が減少

被扶養者
(グラフ2)
入院医療費が増加



組合員の上半期の医療費は、前年度より4300万円(4.4%)減少しています。特に、入院に係る医療費は、2800万円(8.8%)減少していますが、これは1件あたりの医療費が減少したことによるもので、入院の件数は17件の減少に留まっています。

被扶養者の上半期の医療費は、組合員とは反対に、前年度より4600万円(4.6%)増加しています。特に、入院に係る医療費は、入院件数が107件減少しているにもかかわらず、5200万円(18.0%)と激増しています。

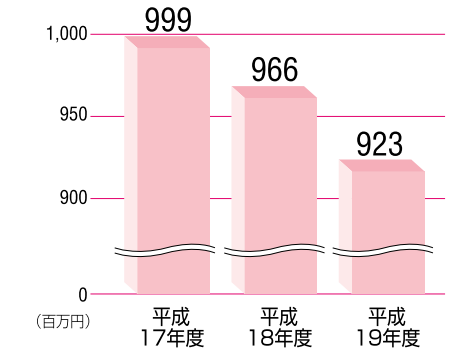
■組合員数・被扶養者数・給料総額(月額)
(単位:人、千円)

区分	平成18年9月末(A)	平成19年9月末(B)	増△減((B)-(A))
組合員数	17,624	17,105	△519
被扶養者数	22,160	21,711	△449
給料総額(月額)	5,676,038	5,476,648	△199,390

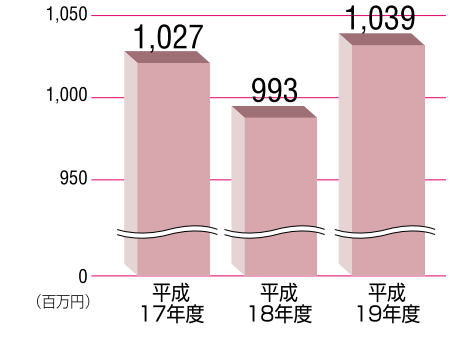
■上半期の収支状況
(単位:千円)

区分	平成18年度上半期(A)	平成19年度上半期(B)	増△減((B)-(A))
収入	4,054,698	3,963,386	△91,312
支出	4,091,214	4,383,817	292,603
収支差引	△36,516	△420,431	△383,915

■〈グラフ1〉上半期の医療費(組合員)



■〈グラフ2〉上半期の医療費(被扶養者)



■上半期の医療費(入院・外来・歯科)
(単位:件、千円)

区分	平成18年度(a)	平成19年度(b)	増△減((b)-(a))	
組合員	入院	987	970	△17
	外来	55,155	54,077	△1,078
	歯科	12,495	12,049	△446
計	68,637	67,096	△1,541	
被扶養者	入院	314,347	286,674	△27,673
	外来	545,711	533,292	△12,419
	歯科	105,794	103,040	△2,754
計	965,852	923,006	△42,846	
組合員	入院	1,229	1,122	△107
	外来	68,596	67,510	△1,086
	歯科	13,465	13,603	138
計	83,290	82,235	△1,055	
被扶養者	入院	287,919	339,722	51,803
	外来	609,984	604,857	△5,127
	歯科	95,572	94,849	△723
計	993,475	1,039,428	45,953	

平成18年度

医療費の3要素と1人当たり医療費・平均給料月額・短期財源率の状況

平成18年度の組合員医療費に関する状況についてお知らせします。

受診率	一件当たり日数	一日当たり金額	組合員1人当たり金額	平均給料月額	短期財源率
前年とほぼ横ばいで、引き続き高い水準で推移しています。	投薬の投与期間の制限が緩和されたことなどの影響もあり減少傾向が続いています。	医療の高度化などにより増加傾向が続いています。	平成15年度から4年連続で全国平均より低い状態が続いています。	44位で、全国平均(33万7591円)より1万6477円低い金額です。	93.20%(10位)で、全国平均(83.85%)より9.35ポイント高くなっています。

■短期財源率・平均給料月額の他県との比較

短期財源率 (平成19年度 対給料 単位:%) (期末手当を除く)			平均給料月額 (平成19年3月末現在 単位:円)		
1	長崎	102.400	1	和歌山	370,274
2	奈良	101.200	2	東京	359,039
3	鹿児島	100.600	3	神奈川	350,345
4	沖縄	99.975	4	広島	349,621
5	熊本	97.550	5	千葉	348,788
6	北海道	97.375	6	大分	348,057
7	福岡	96.700	7	埼玉	346,232
8	福岡	95.525	8	栃木	344,644
9	秋田	95.300	9	福岡	344,595
10	愛媛	93.200	10	茨城	343,509
37	埼玉	79.380	37	島根	326,561
38	群馬	78.750	38	長野	326,326
39	福岡	78.750	39	秋田	325,067
40	東京	78.000	40	滋賀	324,358
41	栃木	77.900	41	愛知	323,012
42	長野	77.600	42	宮城	322,645
43	千葉	77.500	43	高知	322,383
44	神奈川	77.500	44	愛媛	321,114
45	静岡	71.250	45	岐阜	318,653
46	富山	68.750	46	石川	313,256
平均	83.850	平均	337,591		

■組合員の診療諸率の他県との比較

1人当たり金額(年額) (平成18年度 単位:円) 薬剤を含む		1日当たり金額 (平成18年度 単位:円)		1件当たり日数 (平成18年度 単位:日)		受診率 (平成18年度 単位:%) (1ヶ月100人当たり受診件数)		
1	徳島	119,545	1	北海道	7,219	1	徳島	72.78
2	北海道	117,295	2	奈良	6,858	2	奈良	70.74
3	奈良	116,022	3	沖縄	6,732	3	和歌山	70.51
4	秋田	115,116	4	島根	6,409	4	三重	70.19
5	佐賀	112,209	5	秋田	6,361	5	栃木	69.89
6	青森	112,096	6	大分	6,327	6	愛知	69.37
7	香川	110,302	7	石川	6,319	7	徳島	69.21
8	福岡	110,081	8	岡山	6,203	8	徳島	68.46
9	広島	109,441	9	徳島	6,131	9	和歌山	68.00
10	大分	108,263	10	滋賀	6,107	10	香川	67.26
31	愛媛	101,154	12	愛媛	6,094	28	愛媛	1.88
37	島根	97,655	37	岐阜	5,624	37	岩手	1.81
38	滋賀	97,628	38	山形	5,618	38	長野	1.81
39	山形	97,275	39	佐賀	5,605	39	滋賀	1.81
40	岐阜	96,243	40	長野	5,590	40	山形	1.80
41	福岡	95,898	41	愛知	5,553	41	奈良	1.79
42	新潟	94,619	42	青森	5,512	42	静岡	1.78
43	新潟	93,999	43	森山	5,507	43	静岡	1.78
44	静岡	92,342	44	和歌山	5,442	44	北島	1.77
45	群馬	92,326	45	山形	5,217	45	鹿島	1.77
46	長野	85,956	46	東京	5,214	46	山梨	1.76
平均	103,104	平均	5,845	平均	1.90	平均	65.37	



医療費のお知らせ

配布依頼及び短期経理財政健全化協力要請の実施
県内20市町を訪問

短期給付財政安定化計画の環境として、所属所である県内20市町を訪問し、「医療費のお知らせ」(平成19年11月6日診療分)の配布依頼及び短期経理財政健全化協力要請を行いました。

短期経理財政健全化協力要請においては、全国連合会からの財政調整交付金及び特別財政調整交付金の交付を受けているという本組合の短期財政の厳しい現状及び統計資料等による医療費の分析内容についての説明を行うとともに、医療費の適正化及び今後の各事業への協力について依頼しました。